

【3面から】つけ、雨水は処分地全体から地下に浸透させるといふ。整地は本年度末までに終える予定です。
豪雨などで処分地に雨水が長期間たまる場合の対応は今後検討をつづけるといひます



四電前で金曜行動

四国電力前での四電行動は、毎週金曜日コソコソと続けられています。参加者は、伊方廃炉をコールして原発の即時廃止を求めることもリレートーク。「内部被ばくの被害や東日本大震災の今

前回までの運動の積み重ねが、国際社会を動かしたと私が認識したのは、2008年原水爆禁止世界大会・国際会議宣言で「核保有国や軍事同盟諸国の政府関係者の中からも、核兵器の危険を根絶するために、核保有国自身が核兵器廃絶のために行動するべきだ」という声があがっている。今日の核兵器廃絶をめぐる情勢の新たな変化を指摘していた。この指摘に触れ、富田起早委員長は「核テロ」「核拡散」への現実的で有効な代案、先制攻撃や新型兵器開発などではなく、核兵器廃絶に他ならないのだという、私たちのこれまでの主張の正当性を彼らのよ

うに核兵器廃絶へと、直ちに踏み出す条件がもはや十分に成熟し、その実現への確かな一歩を踏み出す時が訪れている。今求められていること、は、「宣言」が力強く述べているように、世界政治、とりわけ核保有国の決断であり、この決断を断固として求める諸国民の連帯した行動であることとは、もはやだれの目にも明らかにしている」とは決まっています。2010年に開催されるNPT再検討会議に至る20カ月を「核兵器の協は、そこ

に香川原発水協は、その協は、そこへ向けて運動を組み立ちました。つまりホップ・ステップ・ジャンプでニューヨークに

を送ろうと理事会で決めました。ホップの年は2008年。広島の世界大会に100名の代表団派遣と大きな目標を立て、達成は出来なかったものの、四国一番の43名の代表団を派遣し、大会成功に寄与しました。この年の大会は、久しぶりに大会代表団が市内を進行して大会会場に向かい浴道にアピールすることになっていて、香川代表団も現地に到着しました。しかし、行進団は出発した後で、若干の混乱を起したことが、藤島猛事務局次長(故人)の指揮のもとに行進団に合流することができたというハプニングもありましたが、全員大会に遅れずに参加しました。

私と原水爆禁止運動 松永始

香川の平和民主運動にかかわった経験 5



民主香川
定価 月 100円
発行所
民主香川社
高松市藤塚町
3丁目13-14
☎(087)834-7311

党の躍進が政治を変え える確かな力 山下副委員長

四国4県で演説会が行われた12日、日本共産党の山下芳生副委員長・参院議員は高松市で、にひそうへい参院比例候補、石田まゆ選挙区候補と街頭演説し、「自由と平和、まっすぐ書いて100年。市

民と野党の共闘の発展にぶれずに誠実に努力してきたのが共産党です。この党が伸びることが政治を変える確かな力です」と述べ、参院選での党の躍進を呼びかけました。青年後援会の藤沢直人・日本民主青年同盟香川県委員長が応援演説しました。



山下氏は自公政権や維新などの軍事対軍事の大会唱を「戦争への道は暮らした外交の力で東アジアに平和をつくる党の提案を紹介し、「お手本は東南アジアの国々です。ご近所付き合いに似て、日頃から仲良くすることが紛争を戦争にしない一番

現在、5万トン級バース。大型クルーズ船は、朝日町のコンテナ岸壁で11万トン級を受け入れられる状況。「市街地からも遠く、コンテナ船との調整も困難」との声も聞かせる。一方、現在の岸壁を310m伸ばす延伸工事に必要なのは必要なの声も聞かれます。サンポート地区は、外資



の力です。共産党を伸ばして実現しよう」と呼びかけました。企業・団体献金も政党助成金も受け取らないのが共産党だとし、「だから財界の大方針、新自由主義を終わらせることができます。共産党を伸ばし、やさしく強い経済をつくらう」と訴えました。

にひ氏は「国会に平和の力が必要で。戦前からどんな困難にも負けず、自由と平和を固めました。

異台教太

年金者のみなさん。きたでしよう。厚生労働大臣名で「国民年金・厚生年金保険額改定通知書」といういかめしいお達し。今年度の年金額は「昨年度から0.4%の減額改定となります」。私の場合は9565円、ざっと一万円近いマイナス収入ということだ。▼消費者物価指数(4月)は総合2.5%(生鮮食品を除くと2.1%)の上昇という。黒田東彦日銀総裁の発言。「家計は値上げを受け入れている」といふけれど、実感はどうだろう。財布と相談して店先で考える身としては、とても受け入れることができない発言だ。▼収入が伸びないところへ、物価がじわりじわりと高くなってくるのだから、暮らしにくさが、一段と強まる。まもなくはじまる参議院選挙の大きな争点となる。安心して暮らせる日本がかかった大事な選挙だ。▼戦争か平和か。ロシアのウクライナ侵略、世界の軍事大国が日本をめぐる海や空で戦争道具をもてあそんでみせる。憲法9条、戦争放棄し戦力は保持しない国の姿をいまこそ世界に見てもらおうチャンスだ。そういう政府に一步でも近づける1票をねがう。▼7月4日は高松空襲、そして8・15、忘れてならない戦争の記憶をしっかりと胸に刻み、伝える仕事にも力を尽くしましょう。